

全国学力学習状況調査は「測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面にすぎないこと等を踏まえて」実施されております。本調査は、国語・算数（数学）に特化して行われたものではありませんが、「知」の部分について説明責任を果たすという観点から今回20・21年度を総括いたしました。

平成22年度、全国学力学習状況調査は抽出方式になり、狭山市の平均正答率を求めることが出来ませんが、抽出校の結果を分析し徳育・体力の向上と共に改善策を立ててまいります。

全国学力学習状況調査の結果概要（20年度・21年度）

3 中学校国語 平均正答率（％）

（1）領域別の結果

A 主として知識（国語）

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・書くこと	82.2	81.0	80.1	86.7	87.5	86.8
書くこと	57.5	55.5	55.2	61.5	64.2	64.6
読むこと	71.7	70.7	71.0	74.0	75.4	75.7
言語活動	75.4	74.3	75.2	73.9	74.9	76.0

B 主として活用（国語）

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・書くこと						
書くこと	48.4	46.4	46.7	69.7	72.0	72.5
読むこと	62.4	61.1	60.8	72.1	74.2	74.5
言語活動	62.1	59.7	60.5			

（2）全体の結果

	平成20年度			平成21年度		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
A 主として知識（国語）	74.4	73.2	73.6	75.3	76.5	77.0
B 主として活用（国語）	62.4	61.1	60.8	72.1	74.2	74.5
国語の平均正答率	68.4	67.2	67.2	73.7	75.4	75.8

（3）結果の概要と改善策

- 「話すこと・聞くこと」は平成20年度、県・全国を上回ったが21年度は下回った。
- 「書くこと」は、平成20年度、県・全国を上回ったが21年度は下回った。
- 「読むこと」は、平成20年度、県・全国を上回ったが21年度は下回った。
- 「言語活動」は、平成20年度、県・全国を上回ったが21年度は下回った。
- *平成20年度に比べて21年度は全体として県・全国を下回った。